

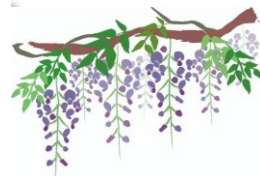
清水 ゆき

開成町議会議員

2024 年度春期活動報告書

発行：令和 6 年 5 月
発行責任者：清水友紀支援の会
連絡先：※紙面にて掲載
yukishimizu06@gmail.com

【ごあいさつ】昨年 4 月の選挙で初当選してから早 1 年が経ちました。町の議員として、日々やりがいを感じながら活動を進めています。これまでの約半年間の活動についてご報告いたします。



テーマ I 教育

愛郷心を育くみ 町民力を活かす

山神町長の「開成町ならではの教育の魅力を積極的に発信し、移住の促進にもつなげていく」との所信表明を受け、12月議会では開成町ならではの教育について質問と提案を行いました。

↓ 瀬戸屋敷にて

開物成務

(かいぶつせいむ)

小学校名の由来
また町名の由来と
される古語です。

「人々の知識

を開いて世の中の

成すべき業を成さしめる」。

教育を重んじる言葉です。

約 150 年前、農村が占める地域にあって、中国の易経にある語を用いる学ある先人達がいたということで、「教育の町開成」を主張するのなら活かせるのでは。(全国屈指の進学校「開成学園」(東京)よりも先です)

なぜ学校で子ども達に意味や由来を説明しないのか問いました。町長は「由来や意味を、もっともっと町内を含め発信していかないといけない」と認識を新たにされた様子でした。



学校には普段から、保護者以外にも多くの地域ボランティア参画があります。小さな町の良さと開物成務の



精神で、より一層の町民力を子ども達のために発揮していただく提案をしました。

1, 町内外で不足しているスクールソーシャルワーカー(不登校児童に寄り添うなど、児童、生徒が抱える問題の解決を図る福祉系の専門職)等の資格取得の支援を、学ぶ意欲がある町民を対象に行うこと。 2, 苦手科目だけでなく、得意科目を伸ばすための学習支援。 3, 子ども達が様々な人生を歩んできた人達と対話する機会を持つこと。…特に 3, に関して町長は、「人口 1 万 9 千人の町に、こんな人がある、こんな活躍をしている人がある、というのを共有する機会を持ちたい考えがある」とのことでした。1, も問題提起になればと思います。

図書館の話は？ 予算質疑にて



駅前に図書館を含む複合施設を、という町長の主張に関して、まず膨大な維持費がかかる他の公共施設の将来的な役割について、管理計画の見直しの必要性を訴えました。

不登校児童数過去最多

開成町の不登校児童について現状と課題、支援策を問いました。

全国的な社会課題は開成町も同様であり、コロナ禍を経て倍増しているとのことです。

支援策① 校内に、教室に代わる居場所づくり。 教室に通えなくても、校内の空き教室などを居場所として設けることについて、町は既に取り組みを進めています。空き教室が無い南小学校での対策も望まれます。

支援策② タブレットを利用したコミュニケーションや健康状態の確認等。

一人一台端末が実現しているので、そのように有効活用できるよう整えていきたいと教育長の話がありました。長期入院中等にも当てはまります。

支援策③ 町内に限らない情報の発信。 相談の機会や支援施設など必要に応じた情報を入手しやすくなるよう、窓口を分かり易くすることが求められます。町も課題だと捉えていたもので、近隣市町と協力し、官民を問わない支援についての情報発信を要望しました。

